



◀力作ぞろいの科学工夫展

小中学校の週5日制がスタートとした9月12・13日に、町民会館で匠瑳郡市科学工夫展覧会が開かれ親子連れでにぎわいました。

会場内には400点のレベルの高い作品が並び、見学者を感心させました。

会場内の東陽小菱木先生は、「論文的なものが多く、子供たちの工夫が伸びている」と話していました。

傑作がズラリ

匠瑳郡市
科学工夫展

ます。」と満足気でした。審査結果は次の通りです。

▽県教育庁海匠出張所長賞
花澤直樹(日吉小3年)
「海上未来都市」

▽光町教育長賞
齊藤千恵(中学2年)「食塩を使った実験」

▽金賞
伊藤玲子(南条小3年)「かいわれの成長について」

なお、3作品は県の展覧会に出品されます。

お年寄りを囲んでお祝い
614人参加した敬老会

「敬老の日」の9月15日、70歳以上のお年寄りを招待して町体育館で和やかに敬老会が行われました。

式では、町長が「今日は

慣れぬ手付で稲刈り



東陽小の5年生が植えた田んぼも収穫時を迎え、9月14日稲刈りが行われました。古屋の役員さんのお手伝いを頂き、児童たちは秋の強い陽光を受け作業しました。収穫した米は、ボランティアスクール、お世話になった方を招待して会食を計画しているそうです。

通信員 遊馬とし子(古屋)

木戸浜フライン作戦

夏の観光客を楽しませた木戸海岸のフライン作戦が8月30日に、白浜地区高齢者生きがい推進委員会と子供会200人により行われ、広大な面積に散らかっているゴミを拾い集め、トラック2台分にもなりました。

通信員 實川順昌(関)



心の洗たくをして、元気に活躍してください。」とあいさつ、続いて鈴木社会福祉協議会会長あいさつの後、長寿者に記念品が贈られました。その後、小学生の作文・歌・模写漫談に会場の中は笑顔が絶えませんでした。

この日参加した加瀬友吉さんは、「毎年来ていて楽しい」と語ってくれました。

▶演芸に大きな拍手が送られた

敬老の日にお菓子のプレゼント

敬老の日の9月15日、鈴木吉威木戸郵便局長、北清水大木弘之郵便局長、太陽社片岡伸行専務が光楽園老人ホームを訪れ「敬老ゆうバック」の売上金の一部でお年寄りにお菓子のプレゼントをしました。

目の不自由な方へ光を

昨年の8月に亡くなった、椎名 彰さん(橋場)の妻茂代さんが献眼をし、目の不自由な方へ光を与えました。

椎名さんの角膜は、片方ずつ2人の方に光と色をプレゼント、その好意に対し、厚生大臣・千葉県アイバンク協会から感謝状が伝達されました。

なお、椎名さんのご家族は全員アイバンク協会へ献眼の登録をしているそうです。



◀お母さんも消火器に挑戦
西高野

震度4を想定

防災訓練



968人が参加した防災訓練が9月6日に行われ、情報の伝達や避難誘導訓練、初

期消火訓練が実施されました。

避難場所では、「防災パンフレットによる説明や消火器を使つての初期消火訓練を受け、「いざ」に備えましょう。普段台所を預る主婦が率先して、消火器に取り組みました。

参加者からは、「火傷などの応急処置の仕方を学びたい」の声も聞かれました。なお今年の訓練は、多くの方に参加頂き、併せて初期消火訓練に重点が置かれました。



1円玉募金ありがとうございました

社会を明るくする運動の一環として、婦人会をはじめ行政委員等多数の方々にご協力をいただき募金活動を行った結果は次のとおりです。

日吉地区	40,739円
南条地区	55,567円
東陽地区	66,356円
白浜地区	72,006円
合計	234,668円

この貴重な浄財は、青少年非行防止及び更生援護事業に活用させていただきます。今後も本運動への理解と協力をお願いします。